

○事業所名	障がい児者サポートセンターてとて 放課後デイサービス てくてく			
○保護者評価実施期間	2025年3月10日 ～ 2025年 3月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数)	29
○従業者評価実施期間	2025年3月5日 ～ 2025年3月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同じ施設内に児童発達支援センターがあるので、切れ目の無い支援が出来る。	放デイが活動する部屋は児発の活動でも使用することがあり、職員の顔も見知っているため環境の変化が少ない。また、児発から放デイへ移行する際の申し送りの時だけでなく、子どもと関わる中で対応について疑問が生じた際に児発の職員に確認することができるため細やかな支援が出来る。	今後も児童や保護者が安心して利用できるよう継続していきます。
2	部屋が複数あり、安心して過ごせる環境、個別に配慮された環境が提供できる。	利用者の状況や相性、活動等を考慮して、訓練室、遊戯室、りんごのほっぺの部屋、場合によっては相談室を利用しながら個別に配慮した支援を目指し、工夫している。	活動内容についても工夫し、外出も設定しながらより幅広い選択の中でスペースや場面分けをしていくことで、発達やニーズ等、個別配慮が行われつつ、安心した環境を同時に提供出来るように努めていく。
3	子どもの声を聴き、興味・関心のあることややりたいことなど希望を叶えられるよう支援している。	子どもの声をもとに、希望する活動（制作、音楽、運動など）が実施できるような環境を用意しています。 外遊びや外出の希望については、休校日や早帰りの日を中心に実施しています。	子どもの興味・関心を広げられるような仕掛け作りや環境をさらに整えていきます。 より楽しめることができるよう、内容の充実を図ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との情報共有が不足している。	子どもの様子を伝える手段が連絡帳や送迎時の申し送りに限られていた。	今後は連絡帳や送迎時の申し送りに加えてお便りを発行し、連絡事項や子どもたちの様子を伝えていきます。
2	地域交流と保護者会開催の機会	コロナ禍を境に交流イベントを計画する事が出来ず、これから企画し直す必要があります。 地域のみならず他保育園などとの交流も検討する必要があります。	大崎市が主催するイベントの際に交流を企画したいと思います。 同じ法人に属する保育園や介護施設との交流を検討し、交流の際に保護者に参加してもらう等の取り組みを行います。
3	「やりたい事」「したい遊び」を伝えにくい利用者への活動の幅が狭い。	利用者の希望を汲み取ったり、提案する活動の幅が狭い。継続した遊びの提案が出来ていない為、遊びが深められなく、発展しない。	保護者や学校、他事業所と活動について情報共有をし、ヒントにしながら利用者が興味関心のありそうな活動を提案し、幅を広げて行くよう努める。また、今後も友達の遊びにも支援者が仲介しながら巻き込み新たに好む遊びの発見に努める。